

警 防

平成27年度のできごと

県・近畿・全国の3種の緊急消防援助隊訓練に参加

緊急消防援助隊は、平成7年(1995年)阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、平成7年6月に創設されました。

市内事業所の協力を経て実施した滋賀県緊急消防援助隊の訓練を皮切りに、宇治市で行われた近畿ブロック訓練、さらには5年に一度開催される全国緊急消防援助隊訓練が千葉県市原市を中心に開催され、宿営訓練を含む、実災害に近い訓練を行いました。



事業所保有重機との連携訓練
(滋賀県訓練 於:大津市)



日没後も活動を実施
(近畿ブロック訓練 於:宇治市)



航空機火災対応訓練
(全国訓練 於:千葉県成田市)

災害用無人航空機運用開始

大津市消防局は、県下消防本部では初となる災害用無人航空機(マルチコプター:別名「ドローン」)を導入し、平成28年1月25日に正式に運用を開始しました。

導入機種は、DJI社製の「Phantom3 Professional」で、重さ1.28キログラム、高さ20センチメートル、対角62センチメートル、秒速約16メートルの飛行速度で、リモコンによる遠隔操縦と、自律飛行が可能です。

大津市では、近年、豪雨や台風で道路が寸断され、地域が孤立する事態も発生しており、状況把握が困難な災害が多く発生しています。

そのような災害において、上空撮影による全体状況の把握、二次災害発生の予見を監視、人の立ち入れない場所に先行し、負傷者の状態確認、隊員の進入経路を指示できるなど、マルチコプターの持つ機能を最大限に活用し、災害対応に努めてまいります。



操作訓練



マルチコプターによる市内撮影写真

市内4か所に耐震性貯水槽を設置

大規模な地震災害時において、水道管が寸断されると、主に地中に埋設されている消火栓が使用できず、地震に伴い発生する火災等への対応は困難となり、消火活動に支障をきたすことが予想されます。

このような非常事態に備え、当消防局では耐震性貯水槽の整備を行っています。

耐震性貯水槽とは、大震災クラスの大きな地震にも耐えうる耐震性を有する防火用の水槽のことで、地質等の調査、設計を基に、段階的に市内に設置しています。

平成27年度は、真野北、坂本、長等、膳所の4学区の公的施設内に4基の耐震性貯水槽を設置しました。



地質調査の様子



真野北支所に設置された耐震性貯水槽

市民の救命率向上に大きな効果が期待される点滴専用台の運用開始

～全国でも珍しい、消防職員が考案した救急資器材が市内全ての救急車で実用化～

大津市消防局の職員が平成25年に考案し、実用化に向けてすすめていました点滴専用の救急資器材(静脈路確保専用台)が完成したため、市内全ての救急車に積載し運用を開始しました。

これは、救急救命士が心肺停止患者等に対して心臓の動きを活発にするための薬剤を点滴により投与する救急救命処置がありますが、救急車が走行中であると、処置が困難な場合があった経験を基にして職員が考案したもので、一刻をあらそう救急現場で大幅な時間短縮に繋がり救命率の向上と後遺症の低減に寄与できるものとして大いに期待されます。このように、消防職員が資器材の開発から実際の現場活動に至る機器の開発は全国的に見ても珍しいことであるといえます。



救急車内車載時



ワンタッチ式マルチIVボード



収納部分



使用状況

出動状況

■ 消防自動車の出動状況

[平成27年中]

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	件数	4	7	8	6	9	1	5	4	9	8	7	5	73
	車両	7	39	52	29	40	13	24	15	60	40	47	33	399
	人員	60	113	151	90	131	40	70	43	174	120	18	95	1,105
救助	件数	6	8	10	14	12	9	21	19	15	19	13	11	157
	車両	40	33	47	77	77	46	116	111	82	99	54	58	840
	人員	114	99	130	217	217	130	323	308	224	281	163	159	2,365
警戒	件数	13	10	7	11	12	11	25	13	11	11	11	9	144
	車両	30	25	18	28	38	30	67	32	26	24	30	30	378
	人員	102	80	55	93	127	95	205	97	74	81	94	98	1,201
偵察	件数	11	8	6	8	9	14	17	7	15	12	8	8	123
	車両	13	10	10	12	12	29	22	10	26	16	11	15	186
	人員	42	30	33	37	39	78	64	28	77	54	36	49	567
水防	件数	-	-	-	-	-	-	10	-	3	-	1	-	14
	車両	-	-	-	-	-	-	24	-	5	-	4	-	33
	人員	-	-	-	-	-	-	62	-	10	-	9	-	81
救急支援	件数	42	28	27	36	23	24	29	27	33	29	30	42	370
	車両	92	61	55	78	54	50	64	56	72	58	62	87	789
	人員	286	183	168	248	168	154	193	168	214	174	197	267	2,420
訓練	件数	-	1	2	-	-	-	-	1	3	1	2	-	10
	車両	-	8	16	-	-	-	-	1	10	5	15	-	55
	人員	-	80	122	-	-	-	-	3	530	30	85	-	850
その他	件数	12	9	11	12	9	13	8	11	8	8	8	11	120
	車両	59	35	29	47	35	44	24	33	18	31	48	31	434
	人員	179	103	87	151	106	132	66	98	55	99	143	96	1,315

■ 消防艇の出動状況

[平成27年中]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	-	-	2	1	1	-	-	-	1	1	1	8
救助	2	-	-	3	1	1	4	3	2	2	-	2	20
警戒	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	3
警備	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4
訓練	2	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	7
調査	-	-	-	2	1	1	1	2	3	-	-	-	10
誤報	3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	5
依頼	1	-	1	-	2	1	3	3	-	-	1	1	13
その他	10	11	16	14	14	16	14	10	3	8	8	22	146
合計	19	11	17	22	21	21	22	24	11	12	10	26	216

地区別消防水利の状況

[平成28年4月1日現在]

種別 学区別	消火栓			防火水そう					プール	池等	河川等	その他	琵琶湖基準水位 ±0cm		
	計	150mm以上	150mm未満	計	100t以上	60～100t	40～60t	20～40t					消防車		消防艇
													水利箇所	延長(m)	活動範囲延長距離(m)
北消防署計	1,813	635	1,178	273	4	13	248	8	39	20	35	26	41	4,479	27,000
小松	245	70	175	22	-	-	22	-	7	1		5	7	1,140	8,000
木戸	215	59	156	32	1	1	28	2	5	1	1	11	4	630	5,000
和邇	236	32	204	35	-	1	34	-	4	10	3	3	6	1,360	7,500
小野	61	24	37	7	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
葛川	89	21	68	14	-	1	12	1	1	-	13	1	-	-	-
伊香立	166	33	133	48	1	2	43	2	6	4	6	1	-	-	-
真野北	74	48	26	14	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-
真野	170	81	89	20	1	2	17	-	2	3	7	3	3	260	800
堅田	321	153	168	32	1	4	24	3	6	1	5	2	21	1,089	5,700
仰木	77	22	55	20	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	-
仰木の里	76	48	28	12	-	-	12	-	3	-	-	-	-	-	-
仰木の里東	83	44	39	17	-	2	15	-	1	-	-	-	-	-	-
中消防署計	2,126	986	1,140	263	26	45	179	13	38	7	26	34	26	5,324	18,200
雄琴	165	75	90	30	1	2	26	1	1	1	2	-	4	578	5,800
日吉台	55	29	26	17	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-
坂本	331	116	215	21	4	2	12	3	3	1	8	6	-	-	-
下阪本	186	64	122	13	-	1	11	1	3	-	4	1	6	316	4,000
唐崎	279	121	158	19	1	3	14	1	4	-	-	1	2	300	2,600
滋賀	261	102	159	26	4	3	19	-	4	1	-	5	2	540	1,200
山中比叡平	62	32	30	6	-	1	5	-	3	-	1	1	-	-	-
長等	177	119	58	35	4	10	20	1	6	3	2	3	4	760	1,800
藤尾	127	60	67	17	3	2	11	1	2	-	3	-	-	-	-
逢坂	139	71	68	17	1	4	11	1	2	-	-	1	-	-	-
中央	101	69	32	14	3	4	7	-	2	-	1	10	3	1,000	1,100
平野	243	128	115	48	5	13	26	4	7	1	5	6	5	1,830	1,700
南消防署計	1,146	518	628	165	20	31	108	6	20	24	74	5	8	1,500	5,300
膳所	241	124	117	19	2	1	15	1	3	-	5	-	7	1,500	2,800
富士見	125	44	81	22	4	6	12	-	1	7	2	-	-	-	-
晴嵐	271	124	147	49	7	17	22	3	5	7	21	3	1	-	2,500
石山	176	77	99	15	2	2	10	1	4	5	6	2	-	-	-
南郷	188	98	90	29	3	4	22	-	4	3	12	-	-	-	-
大石	145	51	94	31	2	1	27	1	3	2	28	-	-	-	-
東消防署計	1,260	511	749	217	5	22	178	12	26	77	35	6	1	400	1,350
瀬田	191	60	131	46	1	4	39	2	3	11	1	1	-	-	-
瀬田北	209	77	132	18	1	1	16	-	4	2	6	1	-	-	950
瀬田南	240	90	150	34	3	6	24	1	5	9	6	1	1	400	400
瀬田東	222	104	118	47	-	6	33	8	3	14	2	3	-	-	-
田上	213	91	122	18	-	2	15	1	6	17	7	-	-	-	-
上田上	85	33	52	15	-	2	13	-	3	15	9	-	-	-	-
青山	100	56	44	39	-	1	38	-	2	9	4	-	-	-	-
総合計	6,345	2,650	3,695	918	55	111	713	39	123	128	170	71	76	11,703	51,850

消防局事業による耐震性貯水槽の設置状況

消防水利は大規模な震災を想定し、消火栓に偏ることなく地域の実情に応じて耐震性を有する消防水利を配置することと国からの告示により定められており、当消防局でも調査及び設計、並びに設置に向けての事業を行っています。

[平成28年4月1日現在]

	40m ³	60m ³	100m ³	計
～平成17年度	15	29	11	55
平成18年度	-	-	-	0
平成19年度	3	1	-	4
平成20年度	-	-	-	0
平成21年度	5	-	-	5
平成22年度	-	-	-	0
平成23年度	1	1	-	2
平成24年度	-	-	-	0
平成25年度	3	1	-	4
平成26年度	-	-	-	0
平成27年度	4	-	-	4
合計	31	32	11	74

開発行為による消防水利の設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「大津市開発許可制度に関する基準」及び「大津市消防水利等設置基準」に基づき、消防水利の指導を行っています。

[平成28年4月1日現在]

	消火栓	防火水槽
平成17年度	12	6
平成18年度	9	6
平成19年度	35	18
平成20年度	17	6
平成21年度	33	15
平成22年度	21	10
平成23年度	8	5
平成24年度	20	5
平成25年度	10	2
平成26年度	8	4
平成27年度	13	8

平成27年 救助概況

■ 事故種別出動件数・救助人員

項目	合計	事故種別								
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
出動件数(件)	231	43	57	21	-	3	15	1	-	91
救助人員(人)	93	4	22	14	-	3	14	1	-	35

■ 事故種別「その他」の内訳

項目	出動件数(件)	救助人員(人)
救急隊支援	6	6
一般負傷(山岳救助)	23	14
一般負傷(転落等)	23	15
誤報(交通等)	12	-
火災誤報	27	-
合計	91	35

■ 過去5年間 出動件数の推移

項目	合計	事故種別								
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
平成23年	237	44	54	24	3	2	13	2	-	95
平成24年	249	54	65	18	4	1	18	2	-	87
平成25年	269	47	72	20	4	7	16	2	-	101
平成26年	214	35	48	28	-	4	10	-	-	89
平成27年	231	43	57	21	-	3	15	1	-	91

■ 名神高速道路等自動車専用道路への出動件数(全出動件数の内数)

項目	合計	事故種別								
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
名神高速道路	7	3	3	-	-	-	-	-	-	1
新名神高速道路	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京滋バイパス	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-
湖西道路	7	-	6	-	-	-	-	-	-	1
合計	22	4	16	-	-	-	-	-	-	2

国際消防救助隊年間教育訓練実施結果

日 時	内 容	場 所
5月11日	・国際消防救助隊に関する基礎知識の習得 ・奈良市消防局国際消防救助隊連携訓練に係る伝達講習(座学)	中消防署会議室
7月7日	・倒壊建物等安定化技術の習得 (ウインドウシヨア・フライングレイカーシヨア) 基本技術の習得	南消防署訓練場
8月3日	・スタティックロープレスキュー訓練 スタティックロープを用いた基本技術の習得	東消防署訓練場
9月1日	・重量物移動技術の習得(ムービング) ・重量物等安定化技術の習得(クリビング)	南消防署訓練場
9月9日、10日	・国際消防救助隊連携訓練への派遣 (名古屋市、1名)	名古屋市
10月8日	・東近畿支部国際消防救助隊連携訓練への派遣 (3名)	京都市消防活動センター
11月27日	・狭隘空間内救出技術の習得	南消防署訓練場
12月25日	・英語による情報収集訓練 ・英語によるコミュニケーション	南消防署会議室
2月24日～26日	・国際消防救助隊セミナーへの派遣(1名)	全国市町村国際文化研修所
2月15日	・派遣シミュレーション ・近畿支部国際消防救助隊連携訓練伝達講習	消防局及び 中消防署会議室
3月9日	・他消防本部との連携(湖南広域消防局) ・想定訓練	北消防署訓練場

救助隊合同定期訓練実施結果

日 時	内 容	場 所
10月13日、14日	・山岳救助訓練(実地)	伽藍山
11月9日、10日	・消防基本操法訓練	東消防署訓練場
12月10日、11日	・消防大学校専科教育救助科伝達講習(谷主査2h) ・交通救助対策(1h)	南消防署訓練場
1月14日、15日	・土砂災害対応訓練	旧ABC駐車場
3月23日、23日	・警防課長査閲訓練	北消防署訓練場

水難救助年間計画訓練実施結果

日 時	内 容	場 所
4月14日、21日	・基本技術訓練（ドライスーツ取扱い、各種検索要領）	大津港
5月14日、21日	・基本技術訓練（各種検索要領、浮上時でのトラブル回避）	松の浦水泳場
6月25日、26日	・流水救助訓練（ディフェンシブスイム、アグレッシブスイム、ライブベイトレスキュー、ラフティングボート取扱い）〔外部講師招聘〕	瀬田川
7月8日、15日	・応用技術訓練（立木を基点とする活動、深度潜水訓練）	近江舞子水泳場
8月7日	・流水救助訓練（ライブベイトレスキュー、ジップライン設定）	琵琶湖第一疎水
9月14日、15日	・基本技術訓練（基本潜水訓練、各種検索要領）	松の浦水泳場沖
10月15日、20日 28日、29日	・基本技術訓練（基本潜水訓練、各種検索要領）	松の浦水泳場沖
11月19日、26日	・基本技術訓練（ドライスーツ取扱訓練、3点による基礎訓練）	びわこ成蹊 大学プール
1月13日、14日	・座学（日本サバイバルトレーニングセンター復命講習、潜水業務時間計算、事故検証）	中消防署会議室
2月19日	・基礎訓練及び技術確認（ドライスーツ取扱訓練）	滋賀県警察機動 隊プール



新消防艇（湖都風）と連携した訓練の様子

消防車両等配置別性能状況

[平成28年4月1日現在]

所属名	名称	車名	登録	ポンプ級別	形状等
消防局	局指令1	トヨタ	H 20		乗用(3,000cc)
	局指揮1	〃	H 10		乗用(3,000cc)
	局指揮2	〃	H 24		4WD
	局広報1	日産	H 16		ライトバン CNG車
	局装備1	ダイハツ	S 58		ジープ4WD
	局査察1	スズキ	H 24		軽バン4WD
	局連絡1	トヨタ	H 5		ステーションワゴン(8名)
	局バス1	日野	S 63		大型バス(42名)
	局団1	三菱	H 16		パジェロ4WD
	局防火1	トヨタ	H 4		ワゴン(10名)
	局支援1	いすゞ	H 25		支援車 I 型
	局楽器搬送1	三菱	H 10		フラットバン(2.0t積)
	局警防1	ホンダ	H 10		バイク 50cc
	北消防署				
本署	北はしご1	三菱	S 63		はしご車30m級
	北救助1	日産D	H 7		救助工作車
	北タンク1	日野	H 20	A-2	タンク車(2,000L)4WD
	北ポンプ1	〃	H 17	A-2	ポンプ車4WD
	北救急1	トヨタ	H 24		高規格救急車 4WD
	北救急2	〃	H 22		高規格救急車 4WD
	北資材1	いすゞ	H 27		トラック(2.0t積)
	北広報1	トヨタ	H 16		ライトバン4WD
	北指令1	マツダ	H 8		ライトバン
	北査察1	スズキ	H 15		軽バン4WD
	北警防1	ヤマハ	H 17		バイク 50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式
	志賀分署	志賀はしご1	日野	H 9	A-2
志賀タンク1		〃	H 25	A-2	CAFS付 タンク車(2,000L)4WD
志賀救急1		トヨタ	H 26		高規格救急車4WD
志賀積載1		ダイハツ	H 9	B-3	小型ポンプ積載デッキバン4WD
志賀資材1		いすゞ	H 15		トラック(2.0t積)
志賀広報1		日産	H 17		ライトバン4WD
志賀警防1		ホンダ	H 15		バイク 50cc
小型動力ポンプ		トーハツ		B-3	可搬式
中消防署					
本署	中はしご1	日野	H 4		はしご車40m級 4WS
	中救助1	〃	H 19		救助工作車II型4WD
	中タンク1	〃	H 23	A-2	CAFS付 タンク車(2,000L)4WD
	中ポンプ1	三菱	H 16	A-2	ポンプ車4WD
	中指揮1	トヨタ	H 24		指揮車4WD
	中救急1	〃	H 28		高規格救急車4WD

所属名	名称	車名	登録	ポンプ級別	形状等
	中資材1	三菱	H 10		トラック(2.0t積)
	中広報1	トヨタ	H 15		ライトバン
	中査察1	三菱	H 6		軽バン
	中警防1	ホンダ	H 4		バイク 50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式
西分署	西ポンプ1	トヨタ	H 22	A-2	高圧噴霧付 ポンプ車(600L)4WD
	西救急1	〃	H 19		高規格救急車4WD
	西資材1	日産	H 9		トラック(1.25t積)
	西連絡1	ホンダ	H 27		軽バン4WD
	西警防1	ヤマハ	H 2		バイク 50cc
	小型動力ポンプ	ラビット		B-3	可搬式
水上出張所	消防艇(おおつ)	軽合金19T	H 27	8000L	小型船舶、ウォータージェット推進器
	搭載艇	アキレス	H 23		15PS(ヤマハ)
	水上連絡1	スズキ	H 8		軽バン
	水上警防1	ホンダ	H 6		バイク 50cc
救急出張所	中救急2	トヨタ	H 21		高規格救急車4WD
南消防署					
本署	南はしご1	三菱	H 12	A-2	はしご車24m級
	南化学1	〃	H 7	A-1	化学車Ⅲ型
	南救助1	日野	H 15		救助工作車Ⅱ型4WD
	南タンク1	〃	H 17	A-2	タンク車(2,000L)
	南ポンプ1	日野	H 25	A-2	CAFS付 ポンプ車(600L)4WD
	南指揮1	トヨタ	H 25		指揮車4WD
	南救急1	トヨタ	H 22		高規格救急車4WD
	南資材1	三菱	H 11		トラック(2.0t積)
	南広報1	ホンダ	H 9		ライトバン
	南支援1	日産D	H 8		支援車Ⅰ型
	南査察1	ダイハツ	H 25		軽バン4WD
	南警防1	ヤマハ	H 16		バイク 50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式
南郷出張所	南郷ポンプ1	三菱	H 13	A-2	ポンプ車(800L)4WD
	南郷救急1	トヨタ	H 20		高規格救急車4WD
	南郷広報1	〃	H 18		ライトバン
	南郷警防1	ヤマハ	H 5		バイク 50cc
	小型動力ポンプ	ラビット		B-3	可搬式
東消防署					
本署	東はしご1	三菱	H 15	A-2	はしご車30m級
	東タンク1	日野	H 24	A-2	CAFS付 タンク車(2,000L)4WD
	東ポンプ1	三菱	H 13	A-2	ポンプ車4WD
	東救急1	トヨタ	H 25		高規格救急車4WD
	東資材1	いすゞ	S 62		トラック(1.25t積)
	東広報1	日産	H 21		ライトバン
	東査察1	〃	S 61		ライトバン
	東連絡1	スズキ	H 9		軽バン
	東警防1	ヤマハ	H 3		バイク 50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式
青山救急出張所	東救急2	トヨタ	H 17		高規格救急車4WD

車両種別一覧

[平成28年4月1日現在]

消防ポンプ自動車(ポンプ車) 6台	水槽付消防ポンプ自動車(タンク車) 5台	救助工作車 3台
 【南ポンプ1】	 【志賀タンク1】	 【中救助1】
高規格救急自動車 10台	はしご車 5台	化学車 1台
 【中救急1】	 【東はしご1】	 【南化学1】
指揮車・指令車 4台	消防艇 1艘	広報車 7台
 【南指揮1】	 【消防艇おおつ(愛称:湖都風)】	 【中広報1】
資機材搬送車(資材車) 6台	支援車 2台	他の車両・バイク 26台
 【北資材1】	 【局支援1】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型動力ポンプ積載車 1台 ・ 消防バス 1台 ・ 査察車 5台 ・ 連絡車 4台 ・ 楽器搬送車 1台 ・ バイク 9台 ・ その他の車両 5台

平成27年 救急概況

救急出動の状況

■出動件数

平成27年中における救急出動件数は16,326件で、前年の15,948件と比較して378件増加しています。

また、1日あたりの平均出動件数は44.7件で、これは1時間に1.9件出動したことになります。

平成27年の出動件数は、過去最高を更新しました。

■搬送人員

傷病者搬送人員は、15,099人と増加傾向にあります。前年の14,802人と比較して297人の増加となっています。これは、市民の23人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

平成27年救急概況表 [前年比較]

区分	出動件数 (件)			搬送件数 (件)			搬送人員 (人)		
	平成26年	平成27年	増減	平成26年	平成27年	増減	平成26年	平成27年	増減
合計	15,948	16,326	378	14,611	14,937	326	14,802	15,099	297
火災	45	52	7	7	12	5	8	12	4
自然	-	-	0	-	-	0	-	-	0
水難	21	27	6	4	11	7	5	11	6
交通	1,469	1,387	△ 82	1,325	1,260	△ 65	1,493	1,406	△ 87
労働災害	233	223	△ 10	224	216	△ 8	224	216	△ 8
運動競技	147	142	△ 5	146	140	△ 6	147	142	△ 5
一般負傷	2,267	2,341	74	2,123	2,208	85	2,129	2,212	83
加害	78	86	8	67	73	6	69	74	5
自損	157	146	△ 11	96	100	4	96	100	4
急病	10,380	10,737	357	9,706	9,974	268	9,715	9,981	266
その他	1,151	1,185	34	913	943	30	916	945	29

過去5年間 出動件数及び現場到着と医療機関到着平均所要時間の推移

	出動件数	搬送件数	搬送人員	1日あたりの 出動件数	覚知から 現場到着までの 平均所要時間	覚知から 医療機関到着 平均所要時間
平成23年	15,082 件	13,710 件	13,910 人	39.3 件	7分48秒	31分06秒
平成24年	15,445 件	13,884 件	14,066 人	42.3 件	7分44秒	31分32秒
平成25年	15,983 件	14,568 件	14,759 人	43.8 件	7分51秒	31分45秒
平成26年	15,948 件	14,611 件	14,802 人	43.7 件	8分13秒	32分15秒
平成27年	16,326 件	14,932 件	15,099 人	44.7 件	8分11秒	32分54秒

■事故種別 [傷病程度別] 搬送状況

事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	合計	割合
火災	- 人	1 人	3 人	8 人	12 人	0.1%
自然	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	0.0%
水難	4 人	2 人	1 人	4 人	11 人	0.1%
交通	2 人	36 人	141 人	1,227 人	1,406 人	9.3%
労働災害	- 人	7 人	47 人	162 人	216 人	1.4%
運動競技	- 人	1 人	15 人	126 人	142 人	0.9%
一般負傷	6 人	95 人	439 人	1,672 人	2,212 人	14.6%
加害	- 人	2 人	10 人	62 人	74 人	0.5%
自損	3 人	12 人	34 人	51 人	100 人	0.7%
急病	50 人	335 人	3,098 人	6,498 人	9,981 人	66.1%
その他	1 人	58 人	730 人	156 人	945 人	6.3%
合計	66 人	549 人	4,518 人	9,966 人	15,099 人	100%
割合	0.4%	3.7%	29.9%	66.0%	100%	

死亡とは、救急隊が病院を引き揚げる前に医師により死亡と判断されたもの。
 その他とは、転院搬送等をいう。

■事故種別 [年齢区分別] 搬送状況

事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	割合
火災	- 人	- 人	- 人	7 人	5 人	12 人	0.1%
自然	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	0.0%
水難	- 人	- 人	1 人	6 人	4 人	11 人	0.1%
交通	- 人	58 人	149 人	921 人	278 人	1,406 人	9.3%
労働災害	- 人	- 人	- 人	179 人	37 人	216 人	1.4%
運動競技	- 人	- 人	89 人	49 人	4 人	142 人	0.9%
一般負傷	- 人	198 人	121 人	463 人	1,430 人	2,212 人	14.6%
加害	- 人	- 人	12 人	40 人	22 人	74 人	0.5%
自損	- 人	- 人	5 人	79 人	16 人	100 人	0.7%
急病	4 人	417 人	242 人	2,949 人	6,369 人	9,981 人	66.1%
その他	13 人	21 人	15 人	263 人	633 人	945 人	6.3%
合計	17 人	694 人	634 人	4,956 人	8,798 人	15,099 人	100%
割合	0.1%	4.6%	4.5%	32.8%	58.3%	100%	

- ・新生児 生後28日未満
- ・乳幼児 生後28日以上 満7歳未満
- ・少年 満7歳以上 満18歳未満
- ・成人 満18歳以上 満65歳未満
- ・高齢者 満65歳以上

■救命率の推移

	搬送人員	心肺停止傷病者数	救命人員	救命率	救命手当施行率
平成23年	13,910人	271人	21人	7.7%	48.0%
平成24年	14,066人	226人	22人	9.7%	52.6%
平成25年	14,759人	295人	35人	11.9%	55.7%
平成26年	14,802人	270人	23人	8.5%	58.5%
平成27年	15,099人	262人	27人	10.3%	57.6%

救命人員とは、1か月以上生存している人を指し、この中には生存退院者や社会復帰も含まれます。
救命手当施行率とは、心肺停止事故を目撃又は発見した市民が、心肺蘇生法等の救命手当を実施していた率です。

■高度救命処置実施状況

救急救命士が実施しました救急救命処置は、次の表のとおりです。

	心肺停止傷病者数	気道確保 (LM等)	気管挿管	除細動	輸液	アドレナリン 投与	CPA前 輸液	ブドウ糖 溶液投与
平成23年	271人	145件	34件	21件	108件	28件	—	—
平成24年	226人	122件	31件	24件	93件	20件	—	—
平成25年	295人	153件	40件	26件	159件	49件	—	—
平成26年	270人	159件	44件	31件	147件	61件	24件	8件
平成27年	262人	159件	53件	22件	146件	62件	81件	22件

平成26年4月1日から救急救命士法施行規則の一部が改正され、心肺停止前の傷病者に対し、静脈路確保及び輸液、さらに血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与が可能となり、10月1日から運用開始しました。

CPA前輸液の件数には、ブドウ糖溶液投与にかかる静脈路確保実施数件数を含みます。

■救急隊員の資格

[平成27年12月31日現在]

資格種別	救急救命士	救急科教育	救急Ⅱ課程	救急Ⅰ課程	合計
人数	59人	124人	55人	18人	256人

■救急救命士の認定状況等

[平成27年12月31日現在]

認定等種別	気管挿管認定 薬剤投与認定	薬剤投与認定	救急救命士	合計	指導救急救命士
人数	21人	25人	13人	59人	3人
現場運用中	19人	19人	7人	45人	3人

■応急手当の普及状況

平成27年1月から12月までの実績は、次の表のとおりです。

講習種別	実施回数	修了者数
応急手当普及員講習 ()は、平成6年から平成27年12月	3 回 (26 回)	40 人 (115 人)
上級救命講習 ()は、平成6年から平成27年12月	1 回 (54 回)	10 人 (737 人)
普通救命講習 平成6年～平成18年で終了	(2,041 回)	(49,171 人)
普通救命講習Ⅰ(AED講習・試験なし) ()は、平成18年から平成27年12月	224 回 (2,021 回)	6,472 人 (56,997 人)
普通救命講習Ⅱ(AED講習・試験あり) ()は、平成18年から平成27年12月	11 回 (441 回)	182 人 (7,518 人)
普通救命講習Ⅲ(普通救命講習Ⅰに準ずる) ()は、平成24年から平成27年12月	39 回 (156 回)	580 人 (2,487 人)
一般救急講習 ()は、平成6年から平成27年12月	63 回 (1,249 回)	3,179 人 (50,115 人)

平成12年度から市立中学校における保健体育の授業に参画し、普通救命講習を実施。

※中学生の平成27年受講者数2,887人(平成12年～平成27年12月 43,780人)

平成18年から普通救命講習は、AED講習を含む普通救命講習Ⅰに移行しました。

平成24年5月から、主に新生児～小児までを対象とした普通救命講習Ⅲを開始しました。

平成26年度から市立小学校における保健体育の授業に参画し、一般救急講習を実施。

※小学生の平成27年受講者数 866人(平成26年～平成27年12月 1,256人)



■[署所別] AED貸出し状況 (平成27年中)

署所	志賀分署	北消防署	西分署	中消防署	南消防署	南郷出張所	東消防署	合計
台数	9	2	1	23	2	3	10	50
割合	18.0%	4.0%	2.0%	46.0%	4.0%	6.0%	20.0%	100%

